

保育実習 (教育基礎)

2月1日(木)の5、6限の時間に、教育総合類型の2年生11名が、夙川宝プリスクールを訪問し、保育実習を行いました。これまでの教育基礎の授業では、保育実習に向けた教材や指導案の作成を行ってきました。保育実習は、夏季休業中に行ったインターンシップと大きく異なり、生徒たちが自分たちの力だけで園児の保育を行います。思ったようにいかず、悪戦苦闘している場面もありましたが、この経験を通じて、たくさんのことを学び、保育の仕事に対してのやりがいを感じたようです。



冬のふれあい農園

2月26日(月)の放課後、教育総合類型の1年生が本校プール横にあるふれあい農園にて、ジャガイモの種イモ植えを行いました。このジャガイモは来年度の7月に夙川宝プリスクールの園児たちとともに収穫するもので、この日は、畝を作って肥料をまき、種イモを植え、マルチシートをかぶせるまでの工程を行いました。マルチシートをかぶせるのは、日光が直接当たって土中の水分が奪われないようにするためのひと工夫です。今から7月のふれあい農園が楽しみです。



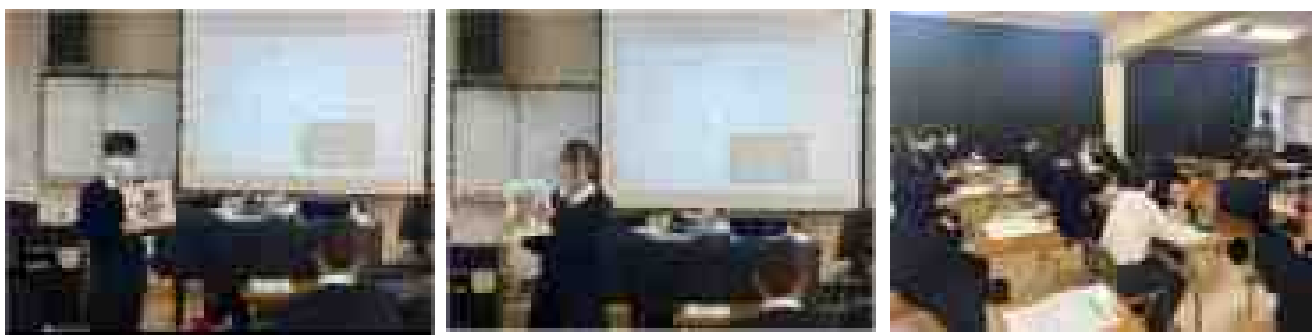
生徒の感想より

○体力を使って、かなり時間もかかったけれど、これが子どもたちの笑顔に変わると思うと、やってよかったと思いました。

○今年の7月に経験したふれあい農園が、このような準備の上にあると知って、準備の大変さと重要さの両方を知ることができました。

絵本の読み聞かせ

10月26日(木)、11月2日(木)に甲子園短期大学の木村雅代先生にご来校いただき、教育総合類型の1年生を対象に、絵本の読み聞かせの授業をしていただきました。1回目は、発声練習ののち、絵本の歴史についてコメニウスの『世界図絵』の実物を見ながら学び、絵本の効果について、「クシュラの奇跡」のエピソードをまじえて教えていただきました。2回目は、生徒が一人ずつ、持参した好きな絵本を紹介しました。その後、宮沢賢治の「いちじょうの実」を群読し、一人ずつが打楽器を持って効果音を入れる活動を行いました。先生から優しい声の生徒が多いとほめていただきました。



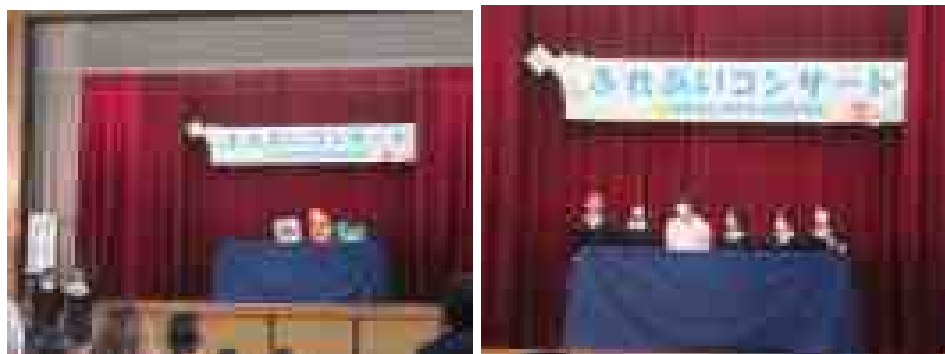
生徒の感想より

本を読み聞かせることは難しいことだと思っていたけど読む側も楽しく読んだら読みやすかった(西田 鳳翔)

幼稚園や保育所の子たちに接するとき授業で受けたことのように笑顔で元気よく接したいです。(永野 聖里愛)

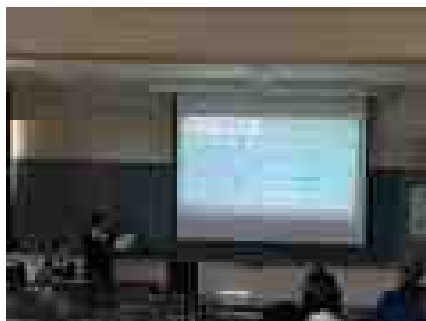
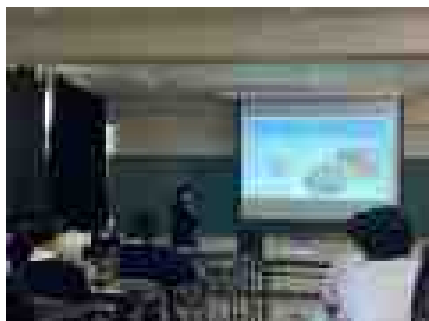
ふれあいコンサート(安井地区青少年愛護協議会)

11月4日(土)、西宮市立安井小学校で行われた「ふれあいコンサート」に教育総合類型の2年生が参加しました。7月に行った本校オープンハイスクールに引き続き、ペープサート劇「ぶんぶくちやがま」を披露しました。これまで複数回演じてきたこともあり、一人ひとりの演技力や声の抑揚などのスキルが上達し、より伝わりやすい、表現豊かなペープサート劇となりました。地域の方々からは盛大な拍手をいただき、貴重な体験をさせていただきました。



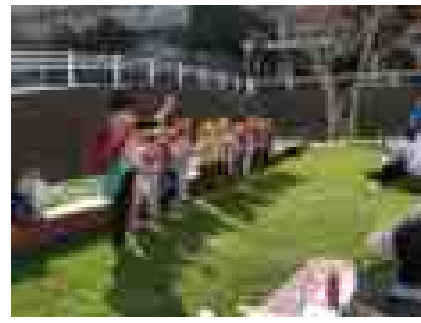
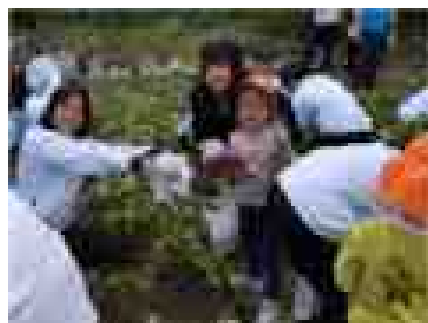
インターンシップ成果発表会(教育基礎)

10月5日(木)の5限に、教育総合類型の2年生が、夏休みに取り組んだ保育園インターンシップの成果をスライドにまとめて発表しました。1年生も参加して、成果発表を聞き、来年に向け、意識を高めました。発表の中で、園児の年齢に応じた取組の特徴や苦労した点、楽しかった点の発表がありました。インターンシップを実施させていただいた夙川宝プリスクールの理事長・渡邊洋一先生、園長・西峯見智子先生にご来臨いただき、西峯先生から「一緒に遊ぶことはふれあいの手段として大切。わからないところは、積極的に質問してほしい」との講評をいただきました。生徒の中には、初めて園児をだっこしたり、おむつをはき替えさせたりした生徒もあり、貴重な経験になったようです。



秋のふれあい農園

10月17日(火)の放課後、教育総合類型の1年生、2年生が中心となって、安井保育園の園児たちとサツマイモ掘りをしました。農園のマルチシートや雑草を取り除いて掘り出しやすい状態にした後、バス停まで園児たちを迎えに行き、農園で一緒に掘り出しました。バス停から農園に行く道中も、類型の生徒は園児たちに積極的に声掛けをし、終始楽しい雰囲気づくりに努めていました。芋掘りの後は、園児たちから歌のプレゼントがありました。



生徒の感想より

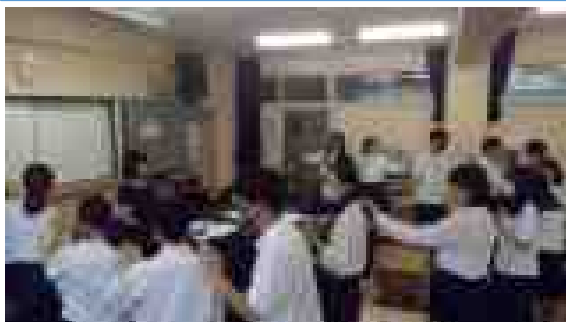
○園児が芋をたくさん採って、笑顔になっているのが印象的でした。準備や片付けなど体力的に大変なことが多かったですが、園児と芋掘りが出来て、良い経験になったと思います。

高大連携授業

9月7日、11日の音楽の授業に、甲子園短期大学の^上田智佳先生に来ていただき、手遊び歌の講義をしていただきました。アイスブレイクに使える手遊び歌や、わらべ歌に実際に取り組みました。11日には、「グー・チョキ・パーで何作ろう」の手遊び歌を一人ずつ発表しました。この発表の中で、子どもたちに対して鏡像になるよう左手と右手を逆になるよう工夫したり、手遊び歌と保育の5領域すべてとの関連を確認したりして、保育者としての視点を学ぶことができました。これからも保育を学ぶ自覚を高めていってほしいです。

生徒の感想より

- 音楽と子どもの発達は大きくかかわっていることを知ることができた良い機会だった。子どもは手遊び歌を通して、言葉や人間関係などたくさんのことを学んでいるのだなと思った。今のうちから少しずつ歌を覚えていきたいと思った。(1年 岡田花音)
- 音楽以外の教育の部分も教えてくださってためになった。幼い子どもにとって音楽は、親とのコミュニケーションになり、成長するのに大切なことなのだなと思った。(1年 楠紗矢)



体育大会 教育総合類型プログラム

9月29日(金)に開催された体育大会で、教育総合類型プログラムが行われ、第3学年の生徒が夙川宝プリスクールの園児たちと一緒にリレー種目に出場しました。普段から走ることに慣れている園児たちは全員、一人100m走り切ることができました。類型の生徒だけでなく、全校生徒からの「がんばれ」という声掛けが見られ、参加者みなが楽しいひと時を過ごすことができました。リレー終了後は、園児一人一人に手作りのメダルをプレゼントしました。



オープンハイスクール

7月28日(金)に、西宮市民会館で本校の教育総合類型に関するオープンハイスクールを実施しました。その中で、教育総合類型の生徒が、学年ごとに1学期の成果や授業での取組を発表しました。1年生は赤ちゃんへの授乳の実演を、2年生はペープサート劇「ぶんぶくちゃがま」を、3年生は選択科目での取組の紹介と、手話選択者による手話歌を行いました。



かんばら子ども教室

8月3日(木)に、本校の教育総合類型の生徒有志で西宮市立神原小学校を訪ね、育成センターを利用している小学生と交流をしました。まず、2年生がオープンハイスクールに引き続きペープサート劇「ぶんぶくちゃがま」を披露しました。次に、本校PTAの旧役員の方々に結成された人形劇団「かぶとむし」による「あらしのよるに」を小学生とともに観劇しました。その後、体育館に移動し、育成センターの小学生たちとドッジボールを行いました。子どもたちから笑いや歓声が上がっており、大変喜んでもらえた様子でした。



生徒の感想より

○発表する時、とても緊張しましたが、子どもたちの笑顔を見ると緊張もなくなり、本当に交流できてよかったと思いました。この交流での経験を生かし、今後の教育総合類型での活動に取り組んでいこうと思いました。

大学教員による講話（教育基礎）

6月8日（木）の5、6時間目に、神戸教育短期大学の山岡伊公子先生に来ていただき、『人間関係と遊び』というテーマで授業をしていただきました。授業の前半は、保育者になりたいと思った理由を一人一人質問され、生徒は皆初心に戻り自分の気持ちを確かめていました。後半は絵本の読み聞かせやわらべ歌の練習を行い、どのような声掛けや工夫が必要かを話し合いました。



夏のふれあい農園

7月4日（火）の放課後に、夙川宝プリスクールの園児たちを招き、教育総合類型の1、2年生がふれあい農園でジャガイモの収穫をしました。子どもたちが楽しく掘り当てられるように、生徒たちがうまくサポートしていました。たくさんのジャガイモを収穫することができ、園児たちも満足した様子でした。収穫の後は、園児たちが「にんげんっていいな」の歌、和歌山県民謡「串本節」を披露してくれました。



生徒の感想より

- しんどかったけど、子どもたちが感謝の言葉をくれたので、やりがいを感じました。
- 園児のみなさんがとても可愛くて楽しそうでした。私たちも貴重な体験をすることができ、じゃがいももいっぱい採ることができて、とても楽しかったです。

幼稚園見学（教育基礎）

5月11日（木）の5・6限に、教育総合類型の2年生全員で、芦屋大学附属幼稚園を訪ねました。男子チームと女子チームの二つに分かれて園児と触れ合う体験をさせていただきました。男子チームは、幼稚園児の前で絵本の読み聞かせを行いました。女子チームは、幼稚園児と一緒に遊びを経験しました。最後に衣川久美子園長先生から保育士や幼稚園教諭になるために必要な心構えやこれから取り組むべきことについての話をさせていただきました。



生徒の感想より

○幼稚園の先生の子どもの接し方を見て、どうしたら子どもたちが見てくれるかなどの工夫をよく学ぶことができました。（2年生）

春のふれあい農園

5月24日（水）の放課後、教育総合類型の1・2年生で、本校のふれあい農園の整備、サツマイモの苗植えをしました。このサツマイモは、秋に近隣の保育園の子どもたちと一緒に収穫する予定のものです。最初に、雑草を抜き、畝を作って肥料をまき、苗を植え、マルチシートをかぶせました。2年生の生徒たちは、昨年度にもこの活動に取り組んでいたため、後輩たちにアドバイスをしてくれました。力仕事もありましたが、生徒たちは熱心に取り組んでいました。子どもたちと一緒に収穫することを楽しみにしています。

生徒の感想より

○みんなで協力して取り組めて、楽しかったです。（1年生）

○暑い中で大変だったけれど、子どもたちの笑顔を思い浮かべながら最後まで一所懸命に取り組めました。（2年生）

○後輩の1年生たちがてきぱきと動いてくれて、作業がスムーズに進みました。（2年生）

